

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	中央大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	チュウオウダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ実習
	学部・研究科等名	商学部
	担当教職員名・役職	斎藤 正武(教授)
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	13
	受入企業等数	7
	受入企業等名	PIM(Panyapiwat Institute of Management)CP-ALLCP-RamCP-Foodシンボー情報システム神豊情報技術OMRONベトナム
	インターンシップの分類	3.海外インターンシップ
要素①	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
要素②	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学にて用意した海外研修先企業にて就業体験する
	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2~4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
要素③	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ実習」は、前提科目として「インターンシップ入門」、「インターンシップ演習」を履修したうえで、履修することができる。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	タイの現地発表会には、教員が現地に出向き、現地発表会(英語使用)に参加をしている
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	春学期15回をかけて、インターンシップでの自己紹介やディスカッション、マナー等の基礎能力と、インターン先の企業研究を行ない、準備を行っている
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	振り返りとして、夏のインターンシップ終了後、秋学期に成果発表会およびレポートを課し、インターンシップの自己の振り返りを促している	

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	現地に教員が出向くのは、タイのインターンシップのみであるが、ベトナムと中国に関しては、教員と学生がネット上の情報共有サイトで情報を確認して、様子を随時報告してもらっている
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前・事後の授業学習以外に、研修先によるインターンシップ評価、レポートで評価している
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	事前学習は授業15回で実施インターンシップ実施期間10日間
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間10日間
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	移動日等を除く、インターンシップ実施の期間として10日間以上としている
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業等にも事前・事後に何かしらの形態で参画をお願いし、各学生の評価も実施している
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://syllabus.chuo-u.ac.jp/syllabus/detail/?action_ret=freeword-result&search=search&free_word=%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%B3%E3%82%B7%E3%83%83%E3%83%97%E5%AE%9F%E7%BF%92&id=775
問い合わせ先	大学等名	中央大学
	担当部署名	商学部事務室
	担当者役職名	副課長
	担当者氏名	鈴木健太
	電話番号	042-674-3515
	メールアドレス	suzukik@tamajs.chuo-u.ac.jp